（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	NEXT STEP

公表日　2025年　4月　5日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7名		・活動に応じてパーテーションを複数使って、臨機応変に対応しています。	・建物の構造上、音の反響が大きいため、工夫していく必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7名		・職員は基準配置以上の人数を配置しています！	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7名		・TEACCHプログラムの特性上、子どもたちが何をする場所なのかわかるように構造化されています！	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7名		・状況に合わせて活動区域のをパーテーションで広げたり狭めたりしているので、子どもたちに合わせた空間となっています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7名		・必要に応じて休憩スペースを使用してクールダウンできる環境を整えています。	・体調不良時に過ごす場所がないので、今後検討していきたい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7名		・都度、課題や改善策、今後のスケジュールを職員全体で共有して、改善に取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7名		・アンケート結果を職員で共有し、良いことも悪いこともモチベーションに繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7名		・定期的な面談と、言いやすい環境を作り、常日頃業務改善を意識しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7名		・外部評価を行っていないので、今後施設が大きくなることを目標に検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7名		・定期的に研修を行っています。	・経験を積めば積むほど似たような研修が繰り替えされてしまうため、研修内容の多様化を目指して行きたいです。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7名		・支援プログラムをしっかりと作り、ホームページに公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7名		・日頃の様子や面談を通じで保護者のニーズを汲み取りながら個別支援計画を作成しています！	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7名		・支援会議の中で職員の意見を取り入れたり、共有したりしながら、子どもの最善の利益を意識しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	7名		・日々の活動内容に影響するため、職員が個別支援計画の内容を把握できるようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		7名		・各指導員の私見によるアセスメントになっているため、標準化されたアセスメントツールがあれば、新人職員も参加しやすいかなと思っています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7名			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7名		・必要に応じてチームで活動の立案をしている。基本的には3名程度の児童に対して、職員1人が活動を考案する体制です。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7名		・毎月必ず行うものや、それ以外のものと分けて、同じ内容が繰り替えされないように意識しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7名		・当施設の特性上、個別療育と小集団療育を必ず行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7名		・朝礼時に活動の共有を必ず行うようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	7名		・退勤前や次の日の朝礼で、活動の振り返りを行うようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7名		・障害福祉事業を運営する上で必要な記録は必ず行っています。また、記録内容を手厚くして保護者にわかりやすい、安心してもらえる記録と、後に振り返りができる環境を作っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7名		・必要な時期に適切なモニタリングを行い、個別支援計画の評価を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7名		・４つの基本活動のすべてを取り入れた活動プログラムを考案しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7名		・療育の内容や目的によるが、自己肯定感の向上を目的とする場面では、自己選択する機会も設け、バランスを取りながら支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7名		・会議参加にふさわしい職員を、必要であれば2名以上の体制で参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7名		・積極的に関係機関や家族を巻き込んだ支援になるように運営しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7名		・当施設側からは積極的に行っています。保護者や学校側からの連絡漏れ等で把握出来ないこともあることが課題となっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7名		・サポートブックを作成して、就学時に学校関係者と共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7名		・現在、過去において対象の児童はいないが、そのような場面においては情報共有する体制は整えてあります。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。		7名	与那原町に児童発達支援センターがありません。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7名		・地域の子どもたちと関わりを持てるように、積極的に外部のイベントに参加したり企画したりしています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		7名		・自立支援協議会というもの自体が与那原町で行われていません。子ども支援部会がそれに該当するのであれば、毎回参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7名		・連絡帳や送迎時に細かい変化や出来たことなどを伝え、保護者と共有する機会を積極的に作っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		7名		・ペアトレや家族を含む研修は、ご家族の都合や職員の負担から実施出来ていません。今後、外部講師を含めた実施を検討していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7名		・契約時にきちんと説明を行っています。また、変更等があればお手紙や保護者会の場を利用して伝えています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7名		・定期的にご家族と面談を行い、個別支援計画にご家族の意向が反映されるように意識しながら作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	7名		・アセスメントを取りながら作成した個別支援計画は、保護者に確認をしっかりしてもらっています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7名		・必要に応じて、ご家族の悩みを話せる機会や、聞き出す場を設けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7名		・年に2回、定期的に保護者会を実施しています。また、その際に当施設を利用していない兄弟等も招いて、保護者を含めたレクリエーション活動も行っています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7名		・相談等があった際は翌日の朝礼や連絡ツールですぐに共有し、出来るだけ迅速に対応するような体制を整えています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7名		・毎回の記録だけでなく、インスタグラム等を利用して活動内容の報告を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7名		・個人情報の流出が内容に厳重な取り扱いを行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7名		・状況に応じて電話だけでなく、面談形式にしたり、資料を用意したり等、理解してもらえるように意識しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7名		・事業所に招待はないが、地域と関わりを持つ運営方針で日頃の活動を計画しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7名		・定期的に防災訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7名		・BCPを作成し、それに基づいた訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7名		・保護者にアセスメント用紙を記入してもらい、初回利用時にはお子様の状態を把握するように努めています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		7名	・医師からの指示書はもらっていないが、アレルギーのある児童は保護者から対応の方法を細かく聞いています。	・指示書があれば、医師から提供してもらい、緊急時に間違った対応をしないようにしてく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7名		・安全計画に基づき、決められた頻度で訓練を行っています。また、災害バッグも2つ用意し、様々なケースに対応出来る環境の中で支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7名		・保護者会で災害の種類ごとに避難場所を説明し、緊急時に迅速にお迎えできるようにしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3名	4名	・朝礼時にヒヤリハット案件を必ず共有するようにしています。	・ヒヤリハットに関するマニュアル等がないので、ヒヤリハット再発防止に向けた施策を考えていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7名		・最低1年に1度は虐待防止研修を行い、日頃の支援を振り返る時間を作り、虐待に気づく環境を作っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7名		・対象の児童はいないが、身体拘束についても毎年研修を行い、必要に応じて保護者にも伝えられる体制を整えています。	